

# Dr.'s REPORT

RF SYSTEM lab.

ドクターズ・レポート | 「デジゲンNAOMI」をお使いのドクターによる製品やサービスに関する生レポートです。

これまでは素通りしていたが、NAOMIには直感が働いた。

電子カルテ導入を進めている中、NAOMIのダイレクトメールが届いた。これまでも学会のブースでデジタルレントゲンを眺めたことはあったが、特別に興味はなく、素通りしていた。しかし、NAOMIは電子カルテに最適と直感した。折りしも医院は改装中であり、レントゲン室も、使用しなくなった透視台を撤去し、明るく、和やかな空間にしたいと考えていた。一、二年の内にはNAOMIを検討しようと思い、ある日、学会のついでにショールームへ立ち寄った。

## 想像以上のカルチャーショック

画像が優れていること、操作が簡単なこと、そして撮影スタンドも美しい。想像以上のカルチャーショックを受けた。さらに若いアールエフスタッフの誠実な対応に好感がもてたこともあり、一、二年も待てないと即座に導入を決断した。

## 見えにくかったものが“見える”という感覚

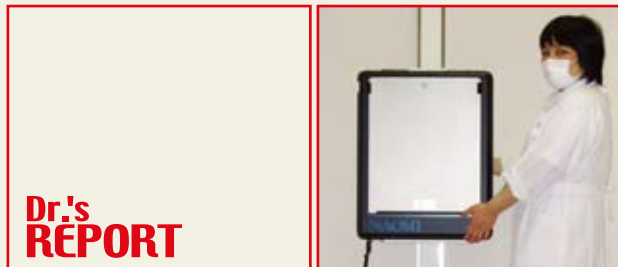
実際に使用してみても、簡単に操作でき、撮影ミスもなく、画像も細部の拡大や濃度の変更を自由にできる。骨病変や肺病変の評価がしやすくなるなど、とにかく、これまで見えにくかったものが見えるという感覚があった。計測も簡単である。経時的に画像を配列して印刷したり、紹介先にも送れるなど、優れた点が多くあった。

## 医院の姿勢を患者さんが評価

患者さんにとっては、撮影から説明までの待ち時間がなく、画像についてもわかりやすく説明をうけられるので、満足度が高い。とくに、塵肺や肺気腫で撮影回数の多い患者さんにはそのメリットが大きい。さらにデジタル化に対する医院の姿勢を評価してくれる患者さんの声も多く聞かれた。スタッフにとっても、写真の保管、取り出しの手間がなくなり、レントゲン撮影の苦勞が軽減されている。また何より、今進めている電子カルテの推進に一役買ってくれていると思う。

## 今月のレポート医院

弘川医院 (福井県大野市)



## デジタル化のメリット

- ・ 現像廃液の処理費、フィルムなどのランニングコストがかからなくなった
- ・ 撮影と診察との時差がないため、迅速な診断が可能になった
- ・ スタッフにとっても、撮影のストレスがなくなった
- ・ フィルムの保管が不要になった

2008

4

vol.14

# デジタル化に対する 医院の姿勢を患者さんが評価